



東北文化学園大学 学園祭で

「生」を支える人と社会、一緒に考えてみませんか？

岩崎健一（画）、岩崎航（詩）作品展 & 柏原絵美写真展

映画『風は生きよという』上映会 & トークライブ『境を越えた瞬間』



先何が起こるか
誰にも分からない
魔法はない
あるのは
二人の折りだけだ



重度に障害を持って、自分らしく生きるために在宅で生活をしている人達があります。また、それを支える特殊なスキルとスタンスを持ったヘルパーがあります。しかし、現場は介護者不足で壊滅的。どうしたら、この現状を打破できるでしょうか。穴戸大裕監督（仙台市出身、名取市在住）作品、映画『風は生きよという』の上映とその後のトークライブを通して、当事者の「生」を感じ、それを支える人や社会の在り方について皆で一緒に考えてみませんか。

映画『風は生きよという』上映会 & トークライブ『境を越えた瞬間』

司会【東北文化学園大学 八鍬央子 & 境を越えて 本間里美】

◆ 映画「風は生きよという」上映会（12:30～）

人工呼吸器ユーザーにスポットをあてたドキュメンタリー映画。
後半トークライブにて、穴戸監督によるトークあり。

◆ トークライブ『境を越えた瞬間』（14:20～）

- 【映画監督 仙台市出身名取市在住 穴戸大裕】
- 【仙台西多賀病院 リハビリテーション科 理学療法士 片山望】
- 【筋ジストロフィー当事者 / 画家 岩崎健一】
- 【理学療法士 / ALS 協会福島県支部事務局 / 元学生ヘルパー 寺田基】
- 【筋ジストロフィー当事者 / 詩人 岩崎航】
- 【ALS 当事者 / ALS 協会宮城県支部長 長尾有太郎と現役学生ヘルパーチーム】
- 【ヘルパー / 理学療法士 / 元学生ヘルパー 伊藤菜緒】
- 【元厚労省障害福祉課 内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局参事官補佐 照井直樹】

日	2019年10月20日（日）
時	12:30～15:30（12:00受付開始）
場	東北文化学園大学 3号館4階講義室
所	〒981-8551 宮城県仙台市青葉区国見6-45-1
対	大学生・高校生・教職員・一般
容	「生」を支える人と社会
主	特定非営利活動法人境を越えて
共	東北文化学園大学・日本ALS協会宮城県支部
参	無料
申	不要（車椅子の方は事前に下記までご連絡ください）
定	先着100名
問	NPO 境を越えて 事務局 鈴木・本間
合	E-mail: info@sakaiwokoete.jp



岩崎健一（画）、岩崎航（詩）作品展 & 柏原絵美写真展

筋ジストロフィー当事者である岩崎兄弟の画と詩&現役ヘルパーでもある柏原絵美の写真を展示いたします。多くを語らずとも静謐の中に訴えかけてくる作品たちを是非お楽しみください。

- ◆ 岩崎健一（いわさき・けんいち）画家
仙台市生まれ。3歳の時に筋ジストロフィーを発症。パソコンを独学し花の絵を描いている。兄弟合同作品展「生命の花 希望の詩 負けじ魂で進む兄弟展」、兄弟共着による画詩集『いのちの花、希望のうた』
- ◆ 岩崎航（いわさき・わたる）詩人
仙台市生まれ。筋ジストロフィーのため胃ろうと人工呼吸器を使用し24時間介助を得ながら暮らす。2004年から五行歌の詩作を始める。詩集『点滴パール 生き抜くという旗印』、エッセイ集『日付の大きいカレンダー』。自立生活実現への歩みを綴った連載「岩崎航の航海日誌」をはじめ、寄稿、講演、対談など多数。
- ◆ 柏原絵美（かしわばらえみ）ヘルパー、写真家
筑波大学芸術専門学群。ALSの母親の介護を通じ、ヘルパーの道へ。ALSと共に生きる当事者とそれを支える人を被写体とした写真作品を制作。二人展「メモリー-I」「メモリー-II」「メモリー-III」ギャラリーK（京橋）

日	2019年10月19日（土）～20日（日）
時	※文化学園祭2019開催期間中
場	東北文化学園大学 3号館4階 講義室

